

平成 26 年 1 月 20 日

1000 系電車引退記念イベント 開催について

秩父鉄道株式会社

秩父鉄道株式会社（本社：埼玉県熊谷市、代表取締役社長：大谷 隆男）と秩父観光興業株式会社（本社：埼玉県熊谷市、代表取締役社長：瀧上 昇二）では、平成 25 年度で引退する 1000 系電車（旧国鉄 101 系電車）の引退記念イベントを開催いたします。

秩父鉄道の 1000 系電車は現在 2 編成が在籍しており、2 月に 1010 号（秩鉄オリジナルカラー）、3 月に 1003 号（旧国鉄色オレンジバーミリオン）が引退し、秩父鉄道での運用がすべて終了いたします。1000 系電車の貸し切りツアーや、さよなら運転など、1000 系電車を満喫する各種イベントを開催いたしますので、最後の 1000 系電車の走りを存分にお楽しみください。

記

1. 1000 系電車引退イベントについて

1) ~~さよなら 1010F 貸し切り&撮影会ツアー~~ **すべて中止いたします (2/19)**

(1) 開催日 平成 26 年 2 月 22 日（土）熊谷駅 8：50 集合

(2) 行程 ①熊谷発 9：24→[貸し切り列車]→秩父着 10：33

《秩父駅構内にて撮影会 11：10 頃～11：50 頃》

②秩父発 12：25→[貸し切り列車]→大麻生着 13：27…[徒歩移動]…

広瀬川原車両基地《車両基地にて撮影会 14：00 頃～14：30 頃》

③[徒歩移動]…ひろせ野鳥の森発 15：03→[貸し切り列車] →

熊谷着 15：10

(3) 旅行代金 大人 3,900 円 小児 3,000 円 248 名募集・先着順受付

(4) ポイント
・2 月 23 日引退予定の 1010 号（秩鉄オリジナルカラー）と 3 月引退予定の 1003 号（オレンジバーミリオン）を 6 両編成の貸し切り電車として運転いたします。

・着席定員制（号車指定の自由席）です。※車両の選択はできません。

・撮影会時に特別ヘッドマークを掲出いたします。

・オリジナル弁当、ツアー限定記念品のプレゼント付きです。

※ひろせ野鳥の森～熊谷間では、着席できない場合もございます。

(5) 予約受付 平成 26 年 1 月 22 日（水）10：00～

①秩父観光ツアーセンター TEL048-525-3701

②秩父鉄道ホームページ <http://www.chichibu-railway.co.jp/>

2) さよなら 1010 号 (秩鉄オリジナルカラー) 引退記念臨時運転

すべて中止いたします (2/19)

- (1) 開催日 平成 26 年 2 月 23 日 (日)
- (2) 運転区間 熊谷～三峰口間 一往復
- (3) 運転時刻 <くんだり・三峰口行>
熊谷発 9:24→寄居発 9:52→長瀬発 10:14→秩父発 11:02→
三峰口着 11:19
<のぼり・熊谷行>
三峰口発 13:38→秩父発 14:00→長瀬発 14:17→寄居発 14:41→
熊谷着 15:10
※表記した駅のみ停車いたします。
※普通乗車券のみでご乗車いただけます。
- (4) ポイント
- ・ 1010 号 3 両と 1003 号 3 両の 6 両編成で運転いたします。
 - ・ ご乗車の方へ特別乗車記念証を差しあげます。
 - ・ 特別ヘッドマークを掲出して運転いたします。

2. 1000 系電車引退記念乗車券・フリーきっぷ発売について

1) 1000 系電車メモリアル記念乗車券

- (1) 発売期間 平成 26 年 2 月 1 日 (土) ～3 月 31 日 (月)
- (2) 発売箇所 秩父鉄道 羽生、熊谷、武川、寄居、長瀬、皆野、秩父、御花畑、
三峰口各駅窓口、通販サイト ちちてつ e-shop
- (3) 発売部数 2,000 セット
- (4) 発売額 1,920 円
- (5) 仕様 D型硬券タイプ乗車券 12 枚セット
- ・ 1000 系 12 編成の写真を、急行停車駅 12 駅 160 円区間乗車券へ
1 種ずつデザイン
 - ・ 1003 号、1010 号モチーフの台紙付き



<台紙表イメージ>



<乗車券イメージ>

2) 1000系電車デザイン 秩父路遊々フリーきっぷ

- (1) 発売期間
- ・平成26年2月1日(土)～3月2日(日)及び3月21日(金)～31日(月)期間の毎日
 - ・3月8日(土)9日(日)15日(土)16日(日)の4日間
- ※各駅割り当て無くなり次第終了
- (2) 発売駅 秩父鉄道 羽生、熊谷、寄居、秩父駅窓口
- (3) 発売金額 大人1,400円 (秩父鉄道全線一日乗り降り自由・発売当日限り有効)
- ※大人のみの発売です。

3. 期間・列車限定1000系電車の時刻固定運転

1000系電車を、期間と曜日を限定し、固定の時刻で運転いたします。

- 1) 期間・列車
- 2月1日(土)～2月16日(日)の土曜・休日限定
→1010号(秩鉄オリジナルカラー)
 - 3月1日(土)～3月16日(日)の土曜・休日限定
→1003号(オレンジバーミリオン)
- 2) 主要駅
- 運転時刻
- 熊谷発10:11→行田市発10:19→羽生着10:35
 - 羽生発10:44→行田市発10:58→熊谷発11:07→寄居発11:36→長瀨発11:52→秩父発12:13→御花畑発12:15→三峰口着12:37
 - 三峰口発12:54→御花畑発13:19→秩父発13:22→長瀨発13:41→寄居発13:57→熊谷発14:28→行田市発14:36→羽生着14:49
 - 羽生発15:01→行田市発15:15→熊谷着15:23
- ※都合により急きょ運転時刻を変更する場合があります。

4. 1000系電車3月開催イベントについて

1003号の3月引退を記念し、1003号貸し切りツアー、記念臨時運転を実施予定です。

詳しくは秩父鉄道ホームページ (<http://www.chichibu-railway.co.jp/>) にてご案内いたします。

以 上

(別紙)

1000系電車について

秩父鉄道の1000系電車は、100形・800形を置き換えるため1985年から1989年にかけてJR（旧国鉄）から101系電車を購入し、使用を開始した車両です。平成6年から平成10年に冷房化改造（中間車は除く）、平成11年にワンマンカー化改造が完了しました。

3両1組の編成で1001号から1012号まで、全部で12編成が在籍しましたが、平成21年より順次営業運転を終了し、現在は2編成（1003号・1010号）が活躍中です。

導入当時は、秩父鉄道の他の車両にあわせた塗装（黄色＋茶色帯）でしたが、1993年6月から、秩父路の青空と長瀬の急流をイメージしたオリジナル塗装（白地に水・赤・青のストライプ）に順次塗り替えを行いました。

昭和の国電をイメージした懐かしいカラーは、平成19年10月14日さいたま市にオープンした『鉄道博物館』の開館を記念し、オレンジバーミリオン、スカイブルー、カナリアイエローの国電カラーに復元したものです。

オレンジバーミリオンは昭和32年から昭和62年まで中央線・武蔵野線、スカイブルーは昭和45年から昭和53年まで京浜東北線、カナリアイエローは昭和36年から平成4年頃まで、山手線・中央線・総武線・南武線などで活躍していた塗色です。

また、国鉄101系電車は、昭和32年に登場した日本国有鉄道（国鉄）の直流通勤形電車で首都圏や関西で通勤・通学輸送に活躍しました。JRでは新型車両への置換えにより平成15年11月28日に定期運用を終了したため、昭和の現役時代の姿で走る秩父鉄道の1000系を目当てに多くの鉄道ファンが訪れています。



平成26年2月引退 1010号
(秩鉄オリジナルカラー)



平成26年3月引退 1003号
(オレンジバーミリオン)